

2013年1月1日～2014年12月31日の間に 当科において臨床病期Ⅲ期非小細胞肺癌と診断され 化学放射線療法を受けられた方へ

—「臨床病期Ⅲ期非小細胞肺癌における標準治療の後方視的研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 岡山大学病院長 金澤 右

研究責任者	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科	講師	大橋圭明
研究分担者	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科	教授	木浦勝行
研究分担者	岡山大学病院	腫瘍センター	准教授	田端雅弘
研究分担者	岡山大学病院	新医療研究開発センター	教授	堀田勝幸
研究分担者	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科	講師	市原英基
研究分担者	岡山大学病院	呼吸器・アレルギー内科	助教	二宮貴一朗
研究分担者	岡山大学病院	腫瘍センター	助教	久保寿夫
研究分担者	岡山大学病院	院内がん登録室	助教	頼冠名
研究分担者	岡山大学病院	新医療研究開発センター	助教	加藤有加
研究分担者	岡山大学病院	呼吸器・乳腺内分泌外科学	教授	豊岡伸一
研究分担者	岡山大学病院	呼吸器・乳腺内分泌外科学	助教	山本寛斉
研究分担者	岡山大学病院	放射線科	講師	片山敬久

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

臨床病期Ⅲ期非小細胞肺癌に対する治療は、化学放射線療法や化学療法後の外科治療など様々あります。また、抗がん剤の種類も多数あるため治療法は多岐にわたります。本研究では、治療の選択理由を明らかにし、予後や肺臓炎等の有害事象の観点から安全性情報を調査し、治療実態を明らかにすることを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

臨床病期Ⅲ期非小細胞肺癌に対する治療パターンごとの予後、肺臓炎等の有害事象および治療関連死の観点における安全性情報を調査し、治療実態を明らかにすることで、よりよい治療法の確立に役立つことが予想されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013年1月1日～2014年12月31日の間に岡山大学病院および共同研究機関で臨床病期Ⅲ期非小細胞肺癌と診断され、岡山大学病院において積極的な一次治療を受けられた方全てを対象とします。

2) 研究期間

2018年3月1日～2019年10月31日

3) 研究方法

2013年1月1日～2014年12月31日の間に当院において臨床病期Ⅲ期非小細胞肺癌と診断され、積極的な一次治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療効果、副作用に関するデータを選び、分析を行い、予後、副作用について調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、治療内容、CTやMRIなどの画像データ、腫瘍マーカーなどの検査データ など

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後15年間、研究事務局で保存させていただきます。パスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科の医局内で施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。

内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2019年9月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科

氏名：大橋圭明

電話：086-235-7227（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-232-8226